

教科	家庭科	学年	第2学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6かかわり合う地域と家庭(p.76~81)	3	■家庭生活は地域とのかかわりで成り立っていることを理解する。 ○地域との相互の関わりで成り立っていることについて考える。	・地域の人との交流を深める、伝統や文化の継承、地域の安全を守るなど、家庭生活と地域とのかかわりについて理解している。 ・自分や家族もそれぞれの活動に関わることで地域を支えたり、支えられたりしていることを理解している。	・グループや学級全体で、多くの視点から考えを出し合い、自分にできるかかわりについて問題を見い出して課題を設定している。	・高齢者など地域の人々との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
		■地域に暮らすさまざまな高齢者について理解するとともに、かかわり方を考える。 ○地域で暮らす高齢者について考え、特徴を知り、介助体験を行う。	・元気に活動し、地域の仕事を支えている高齢者、手助けや見守りが必要な高齢者など地域にはさまざまな高齢者がいることを理解している。 ・高齢者の特徴について知るとともに、介助体験などを通して高齢者との関わり方について理解している。		
		■誰もが暮らしやすい地域のための工夫を理解する。 ○誰もが暮らしやすい地域にするために、災害を例に工夫を考える。			・多様な人々が暮らすことを考えながら、誰もが暮らしやすい地域にするために自分のできることについての課題解決に主体的に取り組んでいる。
1衣服のはたらきと手入れ(p.184~199)		■衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ○小学校で学んだ衣服のはたらきをふり返し、いつも着ている衣服について考える。 ○T.P.Oとは何か知り、自分らしく着こなす衣服を選択する。	・衣服の社会生活上のはたらきについて理解している。		・衣服の社会生活上のはたらきについて、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の社会生活上のはたらきについて工夫し創造し、実践しようとしている。
		■衣服に用いられている繊維の種類と特徴を理解する。 ○布やほぐした布を拡大鏡で観察する。 ○繊維の種類と特徴を理解する。	・布が糸で織られていることに気付くとともに、その織り方にはいろいろな種類と特徴があることを理解している。		

	6	■衣服についた汚れの種類がわかり、適切な手入れについて理解する。 ○衣服の着用で起きる変化や衣服の汚れの種類、程度を調べる。 ○汚れの性質や衣服の材質に合った方法で汚れを落とすことが大切であることを知る	・衣服につく汚れやしみの種類と性質について理解しているとともに、衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の手入れが適切にできる。		
		■取扱い表示の意味を理解し、適切な手入れの方法がわかる。 ○実験を見て汚れを落とすために必要なことを知り、洗濯について知る。	・取扱い表示の意味を理解している。 ・適切な洗濯のしかたと洗剤の使用の方法について理解している。	・衣服の材料や状態に応じた手入れについて考え、工夫している。 ・衣服の手入れについて実践を評価したり、改善したりしている。 ・衣服の手入れについての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・日常着の手入れや補修について、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・補修実習について工夫し創造し、実践しようとしている。
		■衣服の素材に合った洗剤とその適切な量について理解し、洗濯機による洗濯ができる。 ○手洗いと機械洗濯の違いについて話し合い、何をどの洗剤で洗ったらよいか考える。 ○汚れの程度や衣服に合わせた洗濯の方法を考え、洗濯を実施する。	・洗濯機の安全で適切な使い方について理解している。 ・洗濯の方法を理解しているとともに、適切にできる。		
		■衣服の状況に応じた手入れのしかたを理解し、適切に行うことができる。 ○衣服を観察し、手入れや、衣服の収納・保管、補修の必要性について考える。 ○補修の実習を行う。	・ほころび直し、まつり縫い、スナップ付けを理解しているとともに、適切に実践できる。 ・アイロンの使い方について理解しているとともに、適切に設定し、安全に使うことができる。	・衣服の状況に応じた手入れのしかたについて問題を見いだして課題を設定している。 ・衣服を収納・保管する方法について考え、工夫している。	
2衣服の選択と着方 (p.200~209)	3	■資源や環境に配慮した衣服の入手と処分について考え、衣服の計画的な活用について理解する。	・衣服の計画的な活用の重要性について、理解している。		・資源や環境に配慮し、持続可能な衣生活について工夫し創造し、実践しようとしている。
		■既製服を選ぶポイントが分かる。 ○衣服の入手について考え、発表し合う。 ○環境に配慮した衣服の活用について学び、既製服のサイズや表示の意味について知る。 ■自分らしい着方を工夫することができる。 ○選択した衣服の理由を考え、カラーコーディネートについて知る。	・既製服のサイズや表示の種類と意味について理解している。	・T.P.Oに応じた着用や個性を生かす着用について問題を見いだして課題を設定している。 ・衣服の着方や選択について実践を評価したり、改善したりしている。 ・衣服の着方や選択についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・自分らしい色やデザインを選択しようとして、友達の意見を聞いたりして課題解決に主体的に取り組もうとしている。
		■和服の文化に関心をもち和服の着方を知る。 ○和服について知り、洋服と比較する。	・和服の着方を理解している。		・和服の着装体験について工夫し創造し、実践しようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

3布を用いた作品で生活を演出 (p.210~225)	6	■布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ■製作の手順と要点を調べ、必要な用具と完成までの流れを理解できる。 ○小学校での製作を思い出し、「生活を豊かにする」ことについて話し合う。 ○製作の流れや用具を調べ、製作計画を立てる。○製作するものや手順について班や全体で発表し合う。 ■製作に必要な材料や縫い方、用具の安全な使い方の理解を図り、その技能を身に付けるようにする。 ■製作の基礎・基本の習得に主体的に取り組み、よりよい製作を実践しようとする。 ○製作にあたって必要な知識・技能は何かについて話し合う。 ○ミシンの使い方を確認したり、ミシンと手縫いで縫ったものを比較したりして特徴を捉える。	・製作するものを決め、デザインを含めた製作計画を立てることについて理解しているとともに政策が適切にできる。 ・ミシンの使い方について理解しているとともに適切に扱うことができる。 ・ミシン縫いや手縫いの特徴を理解している。	・製作計画について問題を見いだして課題を設定している。 ・製作計画について考え、工夫している。 ・製作について実践を評価したり、改善したりしている。 ・製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・製作に関心をもち、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・製作について工夫し創造し、実践しようとしている。
4持続可能な衣生活 (p.226~228)	1	■資源や環境に配慮した衣生活を送るために工夫できることを考える。 ○環境問題や課題解決の現状を把握し、自分の衣生活をふり返って課題を設定する。 ○課題の解決策を構想する。		・資源や環境に配慮する視点から問題を見いだして課題を設定し、解決策について考え、工夫している。	・課題の解決に主体的に取り組んだり、生活を工夫し創造し、実践しようとしたりしている。
1人間にとっての住まい (p.234~235)	1	■自分ごととして住まいをとらえ、住まいは生活を支えていることを理解する。 ○生活を支える場が住まいであることを知り、各家庭や地域により住まいで行われる活動の違いに気づく。 ○地域や国による住まいの違いを知り、住まいとはどのようなものか考える。	・住まいの基本的な役割には、機能的な面と精神的な面があることを理解している。 ・住まいは人々のさまざまな行動を支えていることを理解している。		・住まいを自分ごととしてとらえ、住まいに関する課題解決に主体的に取り組もうとしている。
2生活に必要な住空間 (p.236~239)	2	■家族の住まい方や空間の使い方を理解する。 ■自身の住まい方の工夫を考える。 ○生活行為によって住まいが3つの空間に分けられることを知り、家族人数や生活行為に合わせた住まいの広さが必要であることを知る。 ○日本の住まいについて考え、住まいのはたらきと心地よさについて意見を交流する。	・家族の生活と住空間とのかかわりについて理解している。	・住まいに必要な空間の使い方について問題を見いだして課題を設定している。 ・住まいに必要な空間の使い方について考え、工夫している。 ・住まいに必要な空間の使い方について実践を評価したり、改善したりしている。	

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

3自然とともにある住生活 (p.240~241)	1	■家族の住まいの希望を生かし、住空間の使い方を考えて工夫することができる。 ○住まいはともに住まう人たちが生活しやすいように工夫されていることを知り、課題に取り組む。	・家族がどのような生活を重視するのかによって、住空間の使い方が異なることを理解している。		・家族が心地よく住むための工夫について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家族が心地よく住むための工夫について工夫し創造し、実践しようとしている。
		■住まいや住まい方は、気候風土や文化など地域の特性や生活を反映していることを理解する。 ○日本の気候風土に合わせた住まいの特徴や自然とともにある日本の住まいや住まい方を考え、現代の住居に継承していくよさについて考える。	・住まいや住まい方は、気候風土に合わせたり、自然のよさを取り入れたりして工夫されていることを理解している。		
4安全で健康的な住生活 (p.242~255)	3	■家庭内事故の種類と、その原因を知り、幼児や高齢者にとっての安全な住まい方を考える。 ○家庭内事故について、事故の発生しやすい場所と安全対策について考える。	・家庭内の事故の種類やその要因と対策としての安全管理の方法について理解している。	・安全で健康な住生活について、問題を見いだして課題を設定している。 ・安全で健康な住生活について考え、工夫している。 ・安全で健康な住生活について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・安全で健康な住生活についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・安全で健康な住生活について主体的に取り組もうとしている。 ・安全で健康な住生活について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
		■健康に住まうために、室内環境の調節方法を理解する。 ○家族が健康・安全に住まうための対策を考える。	・安全な室内環境の整え方について理解している。		
		■自然災害に備えて、住まいを安全に整備する必要とその方法について理解する。 ○自然災害への備えの工夫や被害を最小限に抑えるための住まいの備えについて考える。 ■地域のさまざまな災害に備えて、わたしたちの防災について考える。 ○災害に備えて、個人や家族、住民組織等の視点で防災について考え、まとめる。	・自然災害に備えて、住まいを安全に整備する必要とその方法について理解している。		
5持続可能な住生活 (p.256~258)	1	■持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。 ○持続可能な住生活のために、課題を見つけ、改善方法を考える。		・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	・社会や環境に配慮した住生活について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

1家庭生活と消費 (p.264~265)	1	■金銭管理のしかた等自分の消費行動を振り返り、問題を見いだして、課題を設定することができる。 ○生産の流れや収入と支出、計画的な金銭の管理の必要性等を知り、自分の消費行動を振り返って問題を見いだし課題を設定する。	・消費生活のしくみを理解している。 ・収入と支出をはかり、金銭管理の大切さを理解している。	・金銭の管理のしかた等の自分の消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	
2購入・支払いと生活情報 (p.266~273)	3	■商品を選択するポイントを理解し、比較検討しながら、目的に合った商品を選んで購入することができる。 ○商品を選択するときのポイントや、よりよい商品選択のための情報収集のしかたについて考え、自分の考えをまとめる。	・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について理解しているとともに収集・整理が適切にできる。		・金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
		■購入方法や支払い方法の特徴と問題点や計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。 ■金銭の管理と商品の購入について課題の解決に主体的に取り組もうとする。 ○さまざまな支払方法について知り、金銭管理について考える。	・購入方法や支払い方法の特徴や、計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・自立した消費者として物資・サービスの選択・購入などの消費行動について考え、工夫している。	
3消費者被害と消費者の自立 (p.274~283)	3	■事例を通して、消費者の権利と責任について理解することができる。 ○消費者の権利と責任を果たす「自立した消費者」の在り方について事例を通して考える。	・消費者の8つの権利と5つの責任について理解している。		・消費者被害の事例について話し合い、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
		■消費者被害の現状や背景について理解する。 ○消費者被害の現状と背景、悪質商法の内容を知り、手口と予防方法をまとめる。	・消費者被害の現状や背景について理解している。 ・悪質商法の手口と予防法について理解している。	・消費者被害と消費者の自立について問題を見いだして課題を設定している。 ・消費者被害と消費者の自立について考え、工夫している。 ・消費者被害と消費者の自立について実践を評価したり、改善したりしている。 ・消費者被害と消費者の自立についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・悪質商法について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・消費者被害について工夫し創造し、実践しようとしている。
		■売買契約について問題発生の原因や対応方法を含め、理解する。 ○売買契約について知り、まとめる。	・売買契約の成立と解約について理解している。		

		■消費者を支える支援やしぐみについて理解し、環境や社会に配慮した消費行動について考える。 ○権利と責任を果たせる自立した消費者になるためにどのような支援や仕組みがあるとよいか発表する。 ○環境や社会に配慮した消費行動について考え、発表する。	・消費者を支える支援やしぐみについて理解している。	
生活の課題と実践 【課題設定】 (p.292~303)	1	○今まで学習してきた「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の中からほかの内容とも関連させて課題を設定して、課題解決に向けて計画を立てる。	・「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」などについて問題を見いだして課題を設定している。 ・設定した課題について解決策を考え、工夫している。	・設定した課題について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。